

# ほっかい新報

2012年 週刊 月3回発行  
(第1・2・3日曜日)

9月9日(第1884号)

発行所 ほっかい新報社

060-0806 札幌市北区北6条西7丁目  
電話 011(726)4858  
北洋銀行(普)0576770  
Eメール:hokkaisinpoo@gmail.com

定 価 月ぎめ 230円 1部80円(〒120円)  
年ぎめ 2,760円(〒1,440円)



## 札幌市営住宅家賃減免廃止問題

# 何が問題なのか



宮川 潤 日本共産党市議団幹事長 に聞く

### Q1 家賃減免状況を教えてください

宮川「市営住宅そのものが低所得者向けの住宅です。家賃減免を受けている人は特に所得が少なく、全入居者の33・6%（2010年度の8685世帯と約10年間で10ポイントも増えています。家賃減免世帯の所得を、8月9日の建設常任委員会でも質問しました。市の部長が、「減免制度を適用する場合の基準額を7万2千円と示し、生

札幌市が行財政改革プランに盛り込んだ市営住宅家賃減免の縮小について「住いの協議会」が答申を出しました。これが実施されると家賃が値上げされることとなります。この問題について協議会でとりあげた宮川潤、厚別区で学習会を重ね値上げ阻止の署名をとりこんでいる村上ひとし、減免基準見直しの内容と課題について佐藤宏和の3氏に問題点を聞きました。

活保護世帯（両親と子ども2人の4人世帯）にかかると、生活保護費約200万円強、その200万円から控除等をして残った額が月額7万2千円と積算されています」と答弁しているように、低所得

### Q2 公平性から負担の見直しですか

宮川「生保基準以下の世帯が大半だと思います。家賃減免制度というのは、生活保護基準以下だけれども生活保護を受けられないで頑張っている人たちを応援する意味で、大変いい制度だと思えます。その人たちが狙い撃ちするよう値上げは許されません。

「国民生活の安定と福祉の増進に寄与する」と、低所得者に対する低廉な住宅の供給をその目的にかかげています。民間アパートなどと比べて公平か公平でないかという観点そのものが間違っています。

「市民の声を聞く課」に、家賃減免が安すぎても不公平だ、という苦情でもあったかと聞いたところ「無い」という返事です。平成23年度のオンブズマンへの苦情は125件、そのうち市営住宅に関しては4件、そのいずれも駐車場の確保についての

### Q3 維持修繕費や建て替え費用の増大が見込まれますか

宮川「市の部長が「市営住宅の使用料収入の大部分は現時点では市営住宅の建設の際の建設費の償還や管理費などに充てられておりまして、修繕費の財源までには充てきれ

ていない」と収入計算で答えているように、修繕費の財源としては一般財源が充てられています。修繕費がかかるから家賃収入を上げなければならぬ、というのは理屈として成り立ちません。

宮川「協議会では、「高齢者への配慮が可能な方法で見直すべき」と提言がありました。札幌市は、高齢者控除は税法上の根拠がないから廃止する」としています。

一方で第5回協議会の場で突然、収入計算でみると成り立ちません。明しました。シングルマザーの人たちを支援する

「協議会」の中で市の局長は、サービスを受ける市民と受けない市民の公平性の確保と言いました。公営住宅法第一条は、

「無」の返事です。平成23年度のオンブズマンへの苦情は125件、そのうち市営住宅に関しては4件、そのいずれも駐車場の確保についての

内容をよく知ってもらうために、学習用の小さな手引きを作って、再度学習会を開きました。

署名を訴えると「共産党か、こんな弱いもの味方になってやってくれるところはないもね」と言われ勇気付けられて

強く頑張っています。署名に入ると「減免制度を利用して何とか暮らしているのに、値上げされたらどうしよう？」

「私は市住に住んでないけど、減免しなければ暮らせない方々への負担増はやめてほしい」「こんな取り組みから得た大きな財産です。現在、学習会は35回、統一行動を4回実施、「生活と健康を守る会」や「厚別健康友の会」とも共同して、3千筆近い署名を集めています。

厚別区には「減免制度があるからこそ生きていける」という方が多くいます。憲法を暮らしに活かす「住民の命と暮らしを守る」取り組みとして、市営住宅家賃減免制度改悪（8億円を搾りだそう）の答申を出した。前記の声をこれに対して、値上げを阻止しようと署名活動に歩いている方々に、市住の住民から寄せられたもの▼いままでも訪問活動などしたことがない人が、市住家賃値上げ反対の署名をもっていくと、訪問したことで制度を知り、減免に結び付き、感謝の言葉をもらい、緊張と不安と勇気から生まれる新たな結びつき、運動が広がり署名の数は厚別区だけで3000筆にせまる▼具体化阻止のため今日も訪問は続く。

「減免制度」の縮小による市営住宅家賃の値上げが実施された場合、札幌市内の市営住宅の約4割が集中し、高齢化率の高い厚別区への影響が最も懸念されます。

市の値上げ計画は、市民の「貧困と孤立」を拡大させ、憲法の「生存権」の理念を後退させるものですが、一方では「入居者と非入居者」「減免制

名活動に取り組むようにしてきました。署名は今年の2月末から始めました。学習会を開くと、「減免制度を知らない入居者がたくさんいます。詳しく聞かれたい」という声が多く出され、

中には他党支持者から「共産党なら署名なんかしない」と言われることもありですが、「他党を支持している人でも、家賃値上げで生活に困るのは同じだから、話せばいつかわかる」と粘り

なりに弱い立場の人に負担をさせてしまったら、あととどんな値上げも通ってしまふんじゃないの？絶対ストップさせて！」署名に来てくれたおかげで、家賃減免制度を知り、申請できました。暮らしが少し楽になりました

「た」などの声が寄せられていきます。今回の署名活動で高齢者達が、自分たちの問題をとりあげ、運動する共産党員として、勇気を出して「ピンポン」を押して訪問し、新たな結びつきを生み出していることがこの取り組みから得た大きな財産です。

現在、学習会は35回、統一行動を4回実施、「生活と健康を守る会」や「厚別健康友の会」とも共同して、3千筆近い署名を集めています。厚別区には「減免制度があるからこそ生きていける」という方が多くいます。憲法を暮らしに活かす「住民の命と暮らしを守る」取り組みとして、市営住宅家賃減免制度改悪（8億円を搾りだそう）の答申を出した。前記の声をこれに対して、値上げを阻止しようと署名活動に歩いている方々に、市住の住民から寄せられたもの▼いままでも訪問活動などしたことがない人が、市住家賃値上げ反対の署名をもっていくと、訪問したことで制度を知り、減免に結び付き、感謝の言葉をもらい、緊張と不安と勇気から生まれる新たな結びつき、運動が広がり署名の数は厚別区だけで3000筆にせまる▼具体化阻止のため今日も訪問は続く。

## 憲法の生存権を守る市住家賃値上げストップの取り組み

前札幌市議 村上 ひとし(厚別区)



学習会で質問に答える村上氏(写真中央)

## 減免基準「見直し」で6・4億円増収見込む

北海道生活と健康を守る会連合会事務局長 佐藤 宏和

答申内容は、公営住宅基準額の見直し、②負担率及び負担区分の見直し、③最低負担額の見直し、④各種控除の見直し、の4点です。見直し内容は、①減免

「ドアまで出てくることや、立っているのもやっとな、買物にも困っている。ひばりヶ丘のホクレンが無くなり、タクシー往復で買物にいかなければならぬので、タクシー代が大変」「一人では外にも出られない」「少ない年金のため、減免制度が無かったら食べていけない」▼札幌市が行財政の改革をすると称して「行財政改革プラン」をつくり、今後4年間で53億円もの市民負担増を求め、その一環として「住いの協議会」を設置、その協議会では、「あまりの家賃の安さに驚いています」「私の感覚ではたいした値上げじゃない」などと、安すぎる家賃だとして、市営住宅家賃減免制度改悪（8億円を搾りだそう）の答申を出した。前記の声をこれに対して、値上げを阻止しようと署名活動に歩いている方々に、市住の住民から寄せられたもの▼いままでも訪問活動などしたことがない人が、市住家賃値上げ反対の署名をもっていくと、訪問したことで制度を知り、減免に結び付き、感謝の言葉をもらい、緊張と不安と勇気から生まれる新たな結びつき、運動が広がり署名の数は厚別区だけで3000筆にせまる▼具体化阻止のため今日も訪問は続く。

赤旗へ日曜版  
定価800円(〒14) 一部200円  
日本共産党中央委員会発行

# 泊原発の防災体制は全く不備

## ～在宅も施設も避難計画なし～ 真下道議



福島第1

原発の過酷事故をうけ、泊原発30キロ圏の要

災害時要援護者の名簿づくりは後志管内において未整備です。他の12村16人だけです。他の12村では未整備です。着手すらされていないの248人で、合計32施設

施設名	所在地	現員
寿都寿海荘	寿都	50
特別養護老人ホーム-灯園	蘭越	78
ニセコハイツ	ニセコ	48
羊蹄ハイツ	倶知安	69
特別養護老人ホームみのりの里共和	共和	50
岩内ふれ愛の郷	岩内	47
泊村特別養護老人ホームむつみ荘	泊	45
仁木長寿園	仁木	50
フルーツ・シャトーよいち	余市	97
泊村養護老人ホームむつみ荘	泊	28
養護老人ホームかるな和順	余市	100
勤医協住宅型有料老人ホームにれの木	余市	16
介護老人保健施設麗華苑	倶知安	99
老健施設コミュニティホーム岩内	岩内	99
老人保健施設神恵内ハイツ998	神恵内	84
介護老人保健施設よいち	余市	100
介護療養型老人保健施設こじま	余市	23
介護老人保健施設よいち南館	余市	26
介護療養型老人保健施設なかじま	余市	18
計		1,127
寿都しおさい学園	寿都	43
寿都浄恩学園	寿都	73
歌楽慈光園	寿都	83
岩内あけぼの学園	岩内	47
銀山学園	仁木	132
大江学園	仁木	49
共働の家	古平	46
余市幸住学園	余市	50
余市豊浜学園	余市	28
計		551
歌楽洗心学園	寿都	64
北海愛星学園	蘭越	67
岩内厚生園	岩内	48
櫻ヶ丘学園	仁木	69
計		248
合 計		1,926

後志における災害時要援護者の避難支援計画等の策定  
～17市町村が未定～

市町村名	全体計画	個別計画	要援護者名簿	要援護者数
小樽市	未定	△	△	10,140
島牧村	△	△	△	16
寿都町	△	△	△	108
黒松内町	△	△	△	
蘭越町	△	△	△	
ニセコ町	△	△	△	111
真狩村	△	△	△	
留寿都村	△	△	△	
喜茂別町	△	△	△	
京極町	△	△	△	
倶知安町	△	△	△	
共和町	△	△	△	
岩内町	△	△	△	
泊村	△	△	△	
神恵内村	△	△	△	368
積丹町	△	△	△	
古平町	△	△	△	93
仁木町	△	△	△	72
余市町	△	△	△	
赤井川村	△	△	△	95

注) △:策定済 △:策定中 未:未着手

①全体計画、個別計画、要援護者名簿については、総務省消防庁の平成24年4月現在における災害時要援護者の避難支援計画の調査による。  
②災害時要援護者数については、該当市町村に対する電話確認によるもの。災害時要援護者の対象者については、市町村により異なる。

これは、真下紀子道議の調査と質問で明らかになったもので、道では要援護者の実態、個別支援計画づくりなどについて、いかに取り組んでいるかが問われる。

厚別区に住む5人世帯のTさん(仮名)の場合、給与収入247万円。本来家賃2万4千600円ですが、80%減免に該当し月4千920円になり、これが60%になると9千840円、なんと2倍になりました。

80%減免に該当する基準は、65才以上の単身者で86万円、65才以上夫婦で182万円、3人一般世帯で162万円、4人一般世帯で219万円以下の人たちです。減免されているからこそ、生活保護を利用せずに暮らしているのが実態です。

「老年者控除(50万円)廃止はやめるべき」65才以上世帯は、老年者控除廃止の影響により、減免対象になる人が減少することが判明しました。65才以上の2人世帯では、現行274万円以下までが対象、見直されると246万円以下でないと該当しなくなるのです。基準が28万(89%)も下がるのです。

医療費控除は「廃止すべきではない」市は、「控除額および還付額が適正に申告されているか困難」として収入から医療費負担分の控除をやめようとしています。医療費は生活費ではないので、公営住宅法でも控除が相当と認められているものです。憶測で廃止しようとするのは問題です。

「減免額が増えた分持ち出しが増えたか？」減免額は増えていますが、家賃収入も同額増え影響はありません。「入居できない低所得者との負担が不公平だから受給に見合った負担が必要」と市は言いますが、市営住宅を新設しないから、倍率が10回超募しても入れない事態を生んでいます。

札幌市には、市民の暮らしを守るために、公営住宅を新設するか、家賃補助制度を導入するかが問われているのではないのでしょうか。決して低所得者の生存権を奪い取るやり方は認められないのではないかと懸念されています。

「泊原発なしで乗り切った」泊原発なしで乗り切ったのは、米谷道保原発問題全道連絡会事務局長に聞きました。容量は、原発を含めて742万kw、原発の3機分207万kwを差し引くと535万kwです。今夏の需給見通しは、猛暑年だったといわれる2010年7月が4010万kw、8月が66万kw、8月が503万kw、2011年は7月が463万kw、8月が479万kwでしたから、535万kwの容量が全部フル稼働できればまかなえます。このほかに、電源開発(株)の卸電気事業で水力発電が21万6千kw、卸供給事業で水力発電は13万2千kw、火発は49万kw、合計62万2千kw購入できる容量

Q1 泊原発なしで乗り切ったの、米谷道保「北電の発電設備の容量は、原発を含めて742万kw、原発の3機分207万kwを差し引くと535万kwです。今夏の需給見通しは、猛暑年だったといわれる2010年7月が4010万kw、8月が66万kw、8月が503万kw、2011年は7月が463万kw、8月が479万kwでしたから、535万kwの容量が全部フル稼働できればまかなえます。このほかに、電源開発(株)の卸電気事業で水力発電が21万6千kw、卸供給事業で水力発電は13万2千kw、火発は49万kw、合計62万2千kw購入できる容量」

Q2 計画停電はあり得る？米谷「ところが、国と電力会社は、5月に今夏の電力の需給見通しを発表し、北海道では夏場7%の節電を要請、需給がひっ迫する時(供給余力が1%未満になるとき)、計画停電もありうる」として盛んに脅してきました。北電の火発や水力発電所が、今年に入ってしばしば事故だとして運転停止していることも不可解です。これは原発依存のために、日常的に火発や水力発電施設の整備をあまりやっていないことによるものと思われ、これも原発再稼働やむなしの世論誘導に結び付けていると勘ぐられても仕

Q3 他電力会社の対応も同じですか。米谷「昨年(2011年)の東日本大震災で東京電力と東北電力が所有している福島と東北地方のすべての原発が被災し、運転停止しています。東電と東北電は、昨年(2011年)から火発などの新設・復旧に力を入れ、東北電では新たに234万kw、東北電力は98万kwを確保しました。この結果、被災した東電と東北電は、今夏の電力需給見通しで節電や計画停電の対策になっていません。ちゃんと原発なしで供給余力を確保したのです。」

Q4 冬の消費電力は夏より多いが...米谷「今、冬を前に、北海道は夏よりも冬に電力を余計使うから、今冬は10%の節電が必要だとの報道が出ています。確かに冬は夏より70万kwほど電力使用が多くなります。苫厚真火発4号機(70万kw)が大規模改修を終えて稼働します。」

「電力不足は説得力ない」苦東4号機(70万kw)稼働で冬期も大丈夫。道原発連米谷道保

「電力不足は説得力ない」苦東4号機(70万kw)稼働で冬期も大丈夫。道原発連米谷道保

**「北海道で活動した日本共産党員の墓碑」第20回合葬者追悼会**

9月23日(日)午前11時～

札幌市南区藤野901番地 藤野聖山園「墓碑」八区前-2

内容 納骨・合葬者紹介・献花 追悼会終了後に懇親会

連絡 011-746-1151 党道委員会「墓碑」管理委員会



「北海道で活動した日本共産党員の墓碑」第20回合葬者追悼会